

長野県自由民主党県議団

〒380-8570長野県長野市大字南長野字幅下692-2 県庁議会棟 2F
TEL:026-235-2550 FAX:026-231-5571 <https://jimin-nagano.net/>

石和 大の
県政レポート
vol.32
大ちゃんニュース

JIMIN Nagano

長野県新型コロナウイルス感染症等対策条例案について

【石和議員】 今回の条例案は、新型コロナウイルス感染症の第2波や将来発生し得る同様の感染症への対応を定めるものとのことだが、この条例を制定しようとする狙いとは何か。県民の命を守り抜くため、感染症の脅威に立ち向かうという知事の決意を含め伺う。

2020年6月定例県議会 一般質問(抜粋) ①



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移住施策について

引き続き、医療検査体制の強化・充実をはじめとする様々な対策をしつかりと講じていくことにより、感染症対策を着実に推進し、県民の皆様方の命と健康を守るため全力で取り組んでまいります。

【石和議員】 県民の命と暮らしを守るため、本県として独自施策を講じる必要性が生じた場合、財政調整のための基金の取崩しや他の事業の執行停止等を決断することもあり得るのか伺う。

【総務部長】

これまで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や財政調整基金を活用し、必要な県の独自施策を実施してきた。今後、感染第2波の到来などにより、更なる対策が必要となる場合には、まずは国に対し、新型コロナウイルス臨時交付金や特別交付税の増額などの財政措置を求めるが、国の財政措置を待てないような場合には、基金の取崩しや一部事業の執行停止も選択策に加えて、必要な感染症対策を実施していく。

令和2年度常任委員会は、危機管理建設委員会の所属となり、危機管理部門、建設部門の審査を担当しました。年度初めから、コロナ禍の危機管理体制の構築が急務となり、対応に追われました。県では、感染防止対策、経済対策を早期に打ち出し、1波、2波の対策は県民の皆様のご協力のもとに乗り切ることができました。しかし、経済への打撃が深刻な場面もあり、コロナ禍の早期収束を目指していきます。6月定例会では、コロナ対策に対する県の独自の対策を機動的に打ち出せるように、条例制定に向けて審査しました。一般質問でも取り上げました。

その他、コロナ禍での観光振興について、障がい者就労支援について、豚熱(豚コレラ)対策について、山林の台風災害の復興について等を質しました。

建設委員会においては、東御市でも甚大な被害が出た台風19号災害の復興等について、審査しました。その他、決算特別委員会が設置され、委員に選任され、昨年度の決算について審査します。

思うが、そういったニーズをどう捉えるか。

【企画振興部長】

在、テレワークの取組が全国的に進められており、内閣府の調査によると34.6%の方がテレワークを経験したとの結果も出ている。このように東京にいても、仕事ができる社会になりつつあるとされている。県では、リゾート地で仕事と休暇を両立する場を提供する「信州リゾートテレワーク」を推進しており、都市部からの新たな人の流れを創出している。テレワークの拡大に伴って、東京を拠点に長野を訪れるのではなく、逆に、長野を拠点に東京へ定期的に往くという働き方の選択も可能になってくると考える。産業労働部と連携を図りながら、「信州リゾートテレワーク」を長野県で働く魅力として体感できる機会として進めていくとともに、自然豊かな長野県で働き、暮らすというライフスタイルを発信するポータルサイトを構築したいと考えており、こうした情報発信を強化し、二地域居住や移住につなげていく。

価値観の変化が求められると考える。どのように移住者を迎える考えか。

【企画振興部長】

人口減少や高齢化が急速に進む中、持続可能な地域社会を築いていくためには、もはや、県内や地域内のみの人材には頼っては行かない状況。移住を含め、いかに地域外から人材を呼び込むかが重要だと考えている。県民の皆様は、早く首都圏からの移住を受け入れてもらうためには、県として、医療提供体制の充実及び新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる正しい情報発信、これを基本として、移住者が地域の社会や経済の活性化に寄与している、実際に活躍している好事例を紹介すること等により、移住者を受け入れることの意義や必要性を共有できるように取り組んでいく。移住者に対しては、現在「移住コンシェルジュ」制度により市町村と連携し、地域への溶け込みを支援している。また、今年度新たに、先輩移住者を「信州暮らしパートナー」として配置して、より身近な立場で相談に応じることによって、移住前後の支援を充実してまいりたい。こうしたことを通じ、移住しやすい、また、あたたかく受け入れられる環境づく



▲会派第三部会視察(気仙沼市)



▲震災被災地視察(気仙沼市)



▲震災伝承館内部(気仙沼市)



▲塩釜市長と懇談(塩釜市)



▲危機管理建設委員会審査(委員会室)

☆全文が県議会ホームページに掲載されています。そちらもご覧いただければ幸いです。

